反応拡散系の理論と応用　〜現状と未来〜

日時：　２０１８年１０月１２日（金）～１３日（土）

場所：北海道大学電子科学研究所

中央キャンパス総合研究棟２号館５階講義室

プログラム：

１０月１２日（金）

１０：００～１１：１５ 辻川亨（宮崎大学工学教育研究部 ）

Stability of bifurcating solutions

for the nonlocal Allen-Cahn equation

１１：１５〜１２：３０ 田中吉太郎（公立はこだて未来大学 システム情報科学部）

分化の波の数理モデルとその連続化

１２：３０〜１４：００　昼食

１４：００～１５：１５　出原浩史（宮崎大学工学部）

交差拡散–競争方程式における周期解

１５：１５～１６：３０ 若狭徹（九州工業大学大学院工学研究院）

細胞集団を記述する数理モデルとその解析

１７：００～１８：１５ 池田榮雄（富山大学大学院理工学研究部（理学））

３種競争拡散系における３種共存進行波解の分岐について

１９：３０～ 情報交換会

１０月１３日（土）

１０：００～１１：１５ 坂元国望（広島大学大学院理学研究科）

領域境界上反応ー領域内部拡散系に対するTuring 不安定化について

１１：１５〜１２：３０　関坂歩幹（明治大学　研究・知財戦略機構）

曲面上で相互作用する複数のスポットの運動について

１２：３０〜１４：００　昼食

１４：００～１５：１５　森田善久（龍谷大学理工学部）

反応拡散系における保存則とパターン形成

１５：１５～１６：３０ 須志田隆道（北海道大学電子科学研究所）

反応拡散方程式による網膜情報処理の階層モデルと残像錯視

１７：００～１８：１５ 西浦廉政（東北大学WPI）

振動テールをもつパルスダイナミクス

１９：３０～ 懇親会

主催：電子科学研究所 附属社会創造数学研究センター，理学院数学専攻

世話人：栄伸一郎（北海道大学），長山雅晴（北海道大学）